



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

東京都発表の
延焼シミュレーション

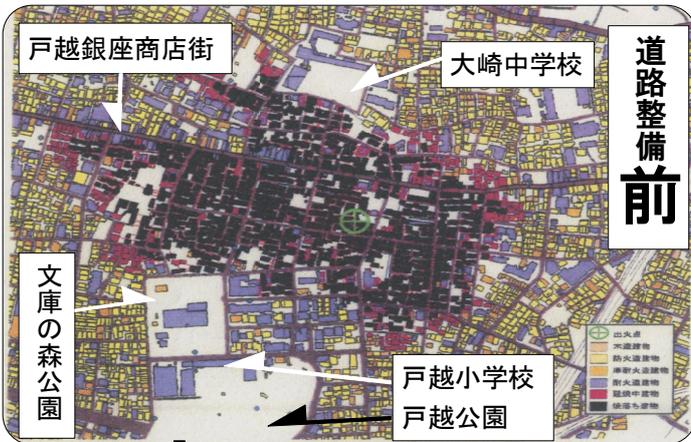
都市計画道路
補助29号線

防災の根拠 崩れる

道路完成後も1000棟以上延焼—これで防災といえるの?!

東京都の延焼シミュレーション (出火点番号R009)

豊町1丁目 道路整備前 1491棟延焼
道路整備後 1218棟延焼



道路整備前

道路整備後も1218棟延焼



道路整備後

住宅街に幅20mの新たな道路をつくる都市計画道路・補助29号線計画。東京都と品川区が住民説明会で「震災時、延焼をくい止める命の道」と説明。その唯一の根拠としてきたのが東京都が行ったという延焼シミュレーションでした。

共産党は半年前から公表を求めてきましたが、東京都は公表を渋ってきました。

都市計画道路
補助29号線道路計画とは

山手通りの大崎警察から戸越銀座、戸越公園駅前、西大井を突き抜け環状7号線に至る3.5km、幅20mの道路と両脇30mの沿道開発。道路予定地には住宅550棟、10の商店街や幼稚園などを立ち退かせ、2020年までに完成させるという計画。

10月16日の区議会決算委員会の総括質問で、日本共産党は東京都が公表した延焼シミュレーションをパネルで示し、「補助29号線完成後も1000棟を超えて燃え広がる。これでなぜ防災といえるのか」と指摘。都と区が「延焼遮断の効果あり」と説明してきた根拠がことごとく崩れました。

10月はじめ、6月初当選の白石たみお都議会議員が初めてこのシミュレーションを東京都に公開させました。

シミュレーション

道路完成後も

一か所千棟以上燃える

都はシミュレーションで出火点を70ヶ所設定。豊町1丁目(表面の図参照)場合をみると、道路が完成してもなんと1218棟も延焼するというのです。70ヶ所の出火点のうち1000棟以上延焼が7ヶ所、500棟以上延焼するところが22ヶ所もありました。

都や区は「道路が延焼を遮断し防災上効果あり」と説明してきましたが、これだけ多くの住宅が燃えてしまう対策がなぜ防災上効果ありと言えるのか。シミュレーションは、道路をつくっても防災の効果がないことを証明しました。

シミュレーション

現実離れた想定

火の粉なし、道路上に車なし、風は道路に直角

しかも、このシミュレーション

シミュレーションの想定は現実離れたものでした。火災発生というのに「火の粉はいっさい飛ばない」。幅20m、延長3・5キロの道路上には「車は1台もなし」。風向きは「道路に直角で東風と西風のみ」という想定です。

風向きにしても、29号線は南北にのびる道路。火災の起こりやすい冬の北風が吹けば、さらに燃え広がることとなります。

道路をつくりたいがためのシミュレーションではないか。そして、この現実離れたシミュレーションでもこれだけ延焼することがわかりました。実際にはもっと深刻な被害が想定されるということなのです。

道路計画をやめ、住民参加の街づくりを

29号線だけで800億円超といわれる巨額の税金を投入し、道路上1000世帯以上を立ち退かせ、コミュニティを壊す道路

壊す道路



建設は、防災に役立たず、むしろ危険を拡大することになりま。税金の無駄遣いになるだけです。

巨道路路計画は、品川区内だけでなく、29号線、補助28号線など、都と区は次々と住民説明会を行っています。

住民は巨道路路建設は望んでいません。

日本共産党は、防災対策は燃え広がる巨道路路建設ではなく、街づくりは、戸越1・2丁目の街並み誘導型地区計画などの手法で住民参加の街づくりこそ進めるべきと提案しました。

住宅の耐震化、初期消火体制の強化を

さらに地震の一撃から命を守る住宅の耐震化助成の拡充、初期消火体制の強化などこそ行うべきと提案しています。

スタンダードパイプが昨年各町会に1本ずつ配備されましたが、さらに増配備すること、スタンダードパイプが使えるためには上水

道の耐震化が欠かせません。品川区内の上水道継ぎ手耐震化は32%。東京都は2年かけて54%の耐震化計画しかありません。100%耐震化を都の求めるよう提案しました。



無料 法律・生活相談会

11月27日(水) 午後6:00~

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 3783-8833
弁護士さんが対応します。
遺産相続や借金、離婚、医療や介護、
どんな問題でもお気軽に。